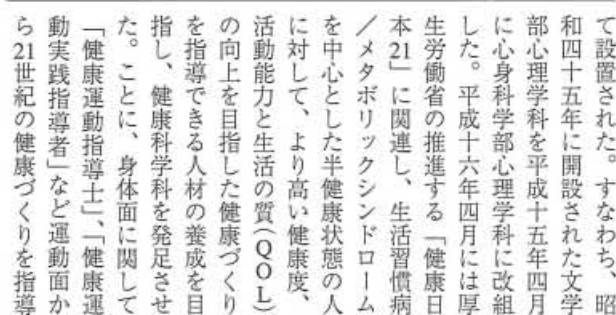




心身科学部

愛知県日進市岩崎町
阿良池12
電話〈0561〉73-1111代

QOLの高い長寿社会を達成することが求められている。健康栄養学科は、既設の心理学、健康科学科と一致協力し、心身両面から理想的な健康のあり方を探求し、21世紀の心身の健康づくりを総合的に指導できる、高度な専門的知識と豊かな人間性を身につ

文科省の19年度新規事業「新たな社会的ニーズに対応した学生支援プログラム」(学生支援GPP)の委員長に小出学長が選任された。この事業は学生支援の優れたプログラムを選定し財政支援を行うことで、学生支援機能の充実を図るもので、委員長として学長の責任は極めて大である。

宗教学科は、昭和四十五年（一九七〇）四月、文学部の最初の学科として設置された。本学科は、本学の建学の精神である、「行学一体報恩感謝」の理念を、時代と社会に具現することを目的に設置された学科である。大学創設以来の曹洞宗門の後継者を育成するという役割を担ってきた。しかし、教育の機会均等という原則に基づいて設立された新制大学の一学科である以上、曹洞宗門のみの学術振興や後継者の育成のみで使命を全うすることはできない。

曹洞宗門の要請には充分に対応しつつ、広く社会に門戸を開き、開かれた学科としての位置づけがなされて今日に至っている。

本学科の在籍者の中で、約20%の学生が曹洞宗門の徒衆で、将来僧侶になることを目的としている。他の約80%の学生は寺院に関係のない一般学生である。一般学生の中にも将来僧侶になることを希望する学生もいるが、大半の学生は直接宗教に関わりをもっているわけではない。

目的の異なった二種の学生ののために、本学科では平成十三年より、専門教育科目名を全面的に変更し、宗教文化コース、仏教コース、禅学コースの三コースを導入し、学生が自由にコースを選択できるようにした。どのコースにも多彩なカリキュラムを用意し、学生自らが「正しい宗教」を真剣に考え、自ら研究に取り組んでもらうシステムとなっている。

今日、宗教を取り巻く環境は、

後援会会長 若尾治実

援会会長という要職を引き受けさせて頂くことになりました。若尾でございます。微力ではございますが、お引受した以上は、私の能力の範囲で最善を尽くす所存でございますので、宜しくお願い申し上げます。

後援会は学生の教育について、大学と家庭が密接な連絡を保ち、教育効果を上げるために、昭和二十八年に大学発足と同時にスタートしました。

大学に入学した学生が、安

愛知学院大学が、現在の地に全で安心した学園生活を送ることにできるよう本年度も、大学と共同で、各種事業を実施してまいります。本年度の事業の幾つかを紹介させて頂きます。一支部懇談会について

本年度は五月十九日より七月八日までの土日曜日を利用

あれから三十三年が過ぎ、入学の周辺は閑静な住宅地と変わり、寂しかったキャンパスには二万人余りの学生が勉学、スポーツに励み、街路樹は大きく育ち、四季折々の異なる表情をみせる、素晴らしく明るく、活気のあるキャンパスへと変わりました。

二、各種の助成について

新興宗教の台頭とともに非常に深刻な状況である。とくにオム真理教の大事件以来、その取しは頂点に達したといつて過言ではない。

しかし、本学の宗教学科は、人間の叡智の所産である世界各地の宗教を研究対象とし、類学・社会学等の視点より客観的に教育研究することを目的としている。宗教は人間が創造したものである。それ故「人」とは何かを究明することは重要な課題である。世界の類が、長い歴史の中で宗教と文化を育成してきたことを、芸術・文学等の側面からも解

明し、現代社会における宗教上の様々な問題についても解明している。

本学の宗教学科は、あくまでも客観的立場から、世界各地の宗教を文化現象として捉え、教育研究に従事してきた。その点をより明確にするため従来の「宗教学科」より「宗教文化学科」に名称変更をするものである。「宗教文化学科」に名称変更することによって、明確に宗教を文化現象として捉え、新たに文化的側面から宗教を解明していくことを鮮明にすることができる。

学科名を変更しても建学の

(1) 教育面での助成
長期の休みを利用しての海外語学研修、人間形成のために行われる永平寺参拝に対して経費助成を行います。

(2) 課外活動面での助成
勉強だけではなく、幅広い活力ある明るい人間性を身につけてもらうため、公認のスポーツ、文化系クラブ百五十団体に対して、積極的に助成をいたします。

(3) 設備・備品面の助成
本年度は、第3食堂新設に伴う設備への助成、環境整備のための緑化事業への助成を行います。

(4) 厚生面での助成
経済的理由で就学が困難になった学生に、緊急奨学金制度、正課および課外活動中の通院・入院、事故や病気による入院等には給付金が支給される災害共済会制度などにも助成をしています。

その他『大学だより』の発行、就職斡旋助成、学生の健康診断に対する助成など、私達の子供がより良い教育環境の中で、楽しく充実した学生生活が、今後も送れるようしっかりとサポートしてまいりたいと考えております。

会員の皆様方には、今後とも後援会に絶大なご支援、ご協力をお願い申し上げます。

精神である「行学一体報恩感謝」を具現する学科であることは変わらない。曹洞宗の僧籍をもつ宗内生に対する教育は従来どおり行う。

新学科のもとで、学生が学問することの喜びを知り、一年次より問題意識をもつて、自らの研究に取り組んでもらう教育体制を確立していく。学生自ら選択できるコースやゼミの授業を通して、意義ある学究生活を送ってもらう。世界の宗教文化の研究を通して、多様化した現代社会を生きぬく知恵ある人格と、社会的役割を担う人材を育成する。

時代のニーズに応える 健康科学専攻 修士課程の設置

(大学院心身科学研究科)

平成十六年に、心身科学部に健康科学科が設置され、順調に発展してきた。明年には卒業生も誕生する。大学院進学を希望する学生も少なからず存在し、心身科学研究科に健康科学専攻の修士課程を設置するよう認可申請中である。

健康科学専攻では、健康スポーツ科学、健康教育学、生命科学、言語聴覚科学の4つのモデルコースを設定している。健康スポーツ科学を例にとって設置の狙いを説明したい。

現在、生活習慣病の患者は著しく多い。ことに糖尿病患者は八百三十万人、予備軍が千四百九十万人、合計二千三百二十万人であり、高血圧患者は三千五百万人、メタボリックシンドローム患者は千三百万人、同予備軍は千四百万人、合計千七百七万人を数え、毎年急激に増加しつつある。これらの疾病の発症には、文

明化に伴う過食(高脂肪食)および身体活動の不足が重要な役割を果たしている。したがって、適度な食事制限と効果的な運動療法の実施は、上記生活習慣病患者の発症予防と悪化防止に極めて有効である。また、加齢に伴う糖代謝の異常、ことにインスリン抵抗性の改善にも身体トレーニングは重要な手段となっている。厚生労働省では、すでに「健康日本21」を実施し、生活習慣病の予防および健康寿命の延伸を目指しており、関連する人材の養成が必須となっている。さらに、平成十八年七月には、「健康づくりのための運動指針2006」が公表され、厚生労働省厚生科学審議会も、メタボリックシンドローム(内臓脂肪症候群)の概念に着目し、糖尿病等の有病者・予備軍の減少に向け、本格的な生活習慣病予防対策を推進しており、「1に運動

2に食事、しっかりと禁煙、最後にクスリ」という行動変容を求めている。

健康科学科では、「健康日本21」、「健康フロンティア戦略」、「医療制度改革」の中心課題である「生活習慣病予防」、「介護予防」の一翼を担う「健康運動指導士」の養成教育を実施しているが、そのアドバンストコースとして、本専攻を位置づけており、上記健康運動指導士の「指導者」および関連の研究を実施する人材の養成は、時代のニーズに大きく応えるものである。

健康科学専攻全体としては、健康を予防・治療面では、健康を予防・治療面では、身体、心、環境の面から指導できる高度な専門家の養成を目指している。今日の社会・経済の急速な変化に対応して、単に専門分野における高度の知識・技術の修得だけでなく、主体的に変化に対応し得る幅広い視野や総合的な判断力、豊かな創造性を持つ人材の育成が目標である。また、ヒトの全遺伝子の解明を始めとして、ゲノム科学の発展が目覚ましい今日、健康科学の広いバックグラウンドとゲノム科学の知識を兼ね備

えた人材の養成も重要な課題である。疾患病態に基づく体系的な言語聴覚治療を實踐できる次世代言語聴覚士の養成にも力を尽くしたい。

卒業後の進路との関連で述べれば、医療・保健・健康増進、健康教育分野など社会が求める様々な場面で活躍できる高度な専門職業人の養成に務める。具体的には、保健体育教諭(専修免許)、養護教諭(専修免許)、健康増進施設、老人保健施設、民間企業の健康管理部門、民間企業の健康センター、地方自治体の保健センター、語学専攻などである。さらに、民間の非営利団体(NPO)等の上級指導者、そして関連領域の研究者の養成にも力を注ぐ。

米国アーカンソー大学 フォートスミス校と本学 姉妹校提携調印式

去る五月十五日午後一時より米国・アーカンソー大学フォートスミス校(UAFS)と本学の姉妹校協定調印式が日進キャンパス本部棟第2会議室にて執り行われた。本学小出忠孝学長とアーカンソー大学ポール・ベラン学長らが出席した。



この言葉は、「正法眼蔵」心不可得の巻に、「金剛經に云く、過去の心も不可得、現在の心も不可得、未来の心も不可得。これはすなわち、諸仏なる心不可得の保証の現成せる、三界心不可得なり、諸法心不可得なり、と保証し来たれるなり。これをあきらむる保証は、諸仏にならざれば、証取せず、諸祖

学である。同大学とは昨年三月から本学後援会前会長・穂おやつカンパニー松田好旦代表取締役社長の紹介で交流を深め、昨年七月に両大学が姉妹校の提携協定に合意した。

我「に束縛され続けて生きています。果ては、苦悩の連鎖で生きることを余儀なくされています。道元禪師は、「心」は存在しないといわれます。なぜならば、私共の住む宇宙という世界も、私という存在そのものも常に現象し続けていて、どこにも「心」が実在する場所がないからです。「自我」から「自己」を開放することが、人間の使命なのです。勇気をもって、自ら「自我の心」の扉を開けて、自由の世界を満喫してみて下さい。

当日、引田国際交流センター所長の交流経緯報告の後、小出学長とベラン学長より協定締結の調印が厳粛に行われた。ベラン学長は「悠久な歴史を持つ愛知学院大学と提携協定を結ぶことは大変光栄に思い、調印を契機に今後交換プログラム等の交流活動を展開していきたい」と述べた。日本側は小出学長をはじめ、両大学の友好提携に尽力した草間国際交流センター前所長と松田社長が挨拶し、調印式が無事終了した。

夕方六時から本学はホテルブラッパ山にてアーカンソー大学一行を歓迎する晩餐会を盛大に開き、小出学長は「アーカンソー大学と姉妹校締結できたことは非常に喜ばしいことで、これを契機に今後学生交換や学術交流に一層力を注いでいきたい」と挨拶。出席者は両大学の親交と発展を誓い合い、晩餐会は和やかに行われた。翌日、本学の紹介でベラン学長らは愛知高校と名古屋商工会議所をも表敬訪問した。

この事業は、学生の人間力を高めて人間性豊かな社会人を育成するため、各大学・短期大学部・高等専門学校における入学から卒業までを通じて組織的かつ総合的な学生支援のプログラムのうち、学生の視点に立った独自の工夫や努力により特段の効果の上がつている取り組みを含む優れたプログラムを選定し、広く社会に情報提供するとともに、財政支援を行うことで、各大学等における学生支援機能の充実を図るものである。

募集期間は七月月上旬迄であるが、本学としてはこのGPに応募すべく学生部を中心に申請準備中である。

当日は、冒頭に委員の互選により小出忠孝愛知学院大学学長・学長を委員長に選出するとともに、同プログラムの公募要領(案)申請書(様式)(案)申請書作成・記入要領(案)審査要項(案)などが事務方から説明され、協議が行われた。

文科省「学生支援GP」 第一回実施委員会 公募要領説明会開催





セメスター制、 春学期試験に 当たって

教務部長 加藤 勇夫

長い梅雨が明けると、猛暑が続きます。学生の皆さんには、新学期から三ヶ月半、元気に学習研究、クラブ活動などに精励し、有意義なキャンパスライフを満喫されていることを嬉しく思います。

本学では、時代の変化、社会の新たな要請などに柔軟に対応すべく、平成十六年度から、セメスター制(歯・薬学部を除く)を実施しています。一科目を学期(セメスター)ごとに完結させる制度です。

大学は、「学習を教育、研究するとともに、人生の可能性を自ら創造する場」であり、

学生生活の集大成として、充実した卒業論文を仕上げるよう準備してください。

キャリアセンターでは、専門のキャリアカウンセラーと経験豊かな職員が、学生諸君のために

夏休みキャリア・アップを
キャリアセンター部長 寶多 國弘

四年生の皆さん、就職活動のゴールが見えてきましたか。

一年生の皆さんは、大学生としての心構えを持つと共に、大きな目標を掲げて、自分に相応しい大学生活の過ごし方を考えてください。



春学期試験、 夏休み・果敢な 挑戦を!!

学生部長 黒神 聰

今、構内にはケヤキの瑞々しい若葉が大きな影を作っています。つい三ヶ月前、桜の満開の中で新学期が始まったばかりなのに、

皆さん知っての通りです。そこに行くまでの彼らの努力と鍛錬と意気込みに感心しておりました。

試験が終わると、皆さんの夏休み……勉強、課外活動他、夏休みの過ごし方如何で、地道な努力の先っぽ

学生生活最後の夏休みが巡ってきました。思っただけでもなく、

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。



「自分を 見つめ直す」 短期大学部・ 英語コミュニケーション学科 科長 羽多野正美

短期大学部・
英語コミュニケーション学科 科長
羽多野正美

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

ところで、本学の公式野球部が愛知リーグを代表して春の神宮大会に出場したことは

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

皆さん、夏休みは、自己分析を踏まえてキャリアアップに努めてください。

愛知学院大学春季公開講座

「クオリティ・オブ・ライフ
—長生きの質を求めて—」

総合テーマ「クオリティ・オブ・ライフ—長生きの質を求めて—」と題し五月十九日から六回にわたり開催された春季公開講座が六月二十三日に終了した。最終日は閉講式も行われ、六回の講座のうち四回以上出席の受講者に小出学長より修了証書が贈られた。四百五十人の受講者のうち三百五十三人に修了証書が授与され高い受講率を占めた。テーマおよび講師は次の通り。

- 第一回「文学と人生」
文学部 神山重彦教授
- 第二回「QOLを高めながら中高年期を生きる」
心身科学部 生越達美教授
- 第三回「高齢化と財産の管理に関する法制度」
法学部 黒田喜重客員教授
- 第四回「歯周病と骨粗鬆症の関係から、健康長寿を考える」
歯学部 佐々木琢磨客員教授

川島嘉明 教授(薬学部)が
日本薬学会より
優秀論文賞を受賞

この度、本学薬学部川島嘉明教授が第9回日本薬学会優秀論文賞(T.Nakate, H.Yoshida, A.Ohike, Y.Tokunaga, R.Ibuki, Y.Kawashima Improvement in the variation of inhalation properties of an FK888 dry powder inhaler using an E-haler, by adding coarse lactose in spherical soft agglomerates of fine drug particles, and its absorption in healthy volunteers)を社団法人日本薬学会より受賞された。川島教授は過去に第4回(1997年)に最優秀論文賞(キトサンによるサスペンションコーティングにおける核粒子の設計と被膜制御)の受賞と第7回(2003年)に優秀論文賞(局所投与を目的としたPLGA微粒子キャリアーの細胞毒性と貪食作用に及ぼす粒子径の影響および薬理効果に関する研究)の受賞と計3回の受賞をされた。

川島教授の今後、日本薬学会でのますますの活躍が期待される。

田原耕平 助教(薬学部)が
第23回 日本DDS学会で
優秀ポスター賞を受賞

この度、本学薬学部田原耕平助教が第23回日本DDS学会において優秀ポスター賞を受賞された。演題は「遺伝子治療を目的とした表面修飾ポリ乳酸・グリコール酸ナノスフェアの設計」。今回87件のうち8件が採用された。

今後、田原耕平助教のさらなる活躍が期待される。

林 達秀 助教(歯学部歯科理工学講座)が
国際歯科研究学会で第2位

平成19年3月21~24日にアメリカ ルイジアナ州 ニューオリンズで開催された 85th General Session & Exhibition of the International Association for Dental Research (IADR)においてPreProsthetic Regenerative Science Award, Second Placeを歯学部 歯科理工学講座 林 達秀助教が受賞した。この賞は補綴前処置に必要な骨・歯あるいは軟組織再生を目指した研究発表を対象に、特に優れた研究発表に対して授与される。

対象となった発表タイトルは「Possibility of Bone Regeneration by Induced Bone-Like Tissue in vitro」であり、その内容は、in vitroにおいて骨形成因子であるBMPを胎仔ラットの未成熟軟組織に作用させることによって同組織から骨様組織を誘導させることが可能となり、さらにこの骨様組織をラットの背部皮下に移植後は骨化する事を証明したものである。

この誘導骨様組織を骨再生に応用しようという試みは斬新であり、この成果は21世紀の骨再生医療に新たな道を切り開くもので、今後さらなる進展が期待される。

- 第五回「セカンドライフを案じむ」
商学部 磯村孝志教授
- 第六回「質の高い健康をめざして」
総合政策学部 吉峯徳客員教授
- ※秋季公開講座のテーマは「リスク—私の安全と暮らしの安心—」に決定。十月六日から予定。

平成十九年度
海外語学研修壮行会が
開催される

去る七月十一日(水)午後十二時五十分より日進キャンパス本部棟三階大会議室において平成十九年度海外語学研修壮行会が盛大に行われた。

当日、小出忠孝学長、深澤欽二後援会副会長の挨拶の後、掛川国際交流センター事務長より今回の海外語学研修の引率者と参加者代表の紹介があり引き続きイギリスエディンバラ大学団長鈴木伸智法工学部講師、カナダビクトリア大学団長ラッセル・L・ノースタイン教授部外外国人講師の挨拶と各コース学生代表の挨拶があった。最後に引田弘道国際交流センター所長の挨拶により壮行会が無事終了した。

名古屋支部懇談会が
盛大に開かれる

去る六月三十日(土)・七月一日(日)の両日、日進キャンパスと楠元キャンパス(歯・薬学部)において平成十九年度名古屋支部懇談会が盛大に行われた。

当日、日進キャンパスでは12号館G105教室において十三時から小出忠孝学長の挨拶のあと、佐藤祐造心身科学部長による「生活習慣病メタボリックシンドロームの予防と運動」についての講演(写真)ならびに商学部商学科山本真一さん(東邦ガス内定)の就職体験報告があり、十四時十五分から学部別に分かれて懇談会が実施された。また、楠元キャンパスでは歯学部・薬学部のご父母が出席され、尾関章司後援会副会長、野口英俊歯学部長、佐々木琢磨薬学部長の挨拶のあと、野口歯学部長による「メタボリック

シンドロームと歯周病」の講演が行われ、十四時四十分から歯学部基礎棟と薬学部棟において学年別面談と個々面接がおこなわれた。

両日あわせて五百名のご父母が出席し、熱心な懇談が行われた。



07年就職戦線

企業は採用活動継続中、 学生は就職活動継続中

今年の企業の採用活動は七月に入っても依然として活発におこなわれています。「内定」は昨年と同様に五月中旬から多くの学生に出始めています。今年の内定取得者の特徴は内定をもらっても納得がいくまで就職活動が続けたり、納得がいくまで会社に関わり、納得がいくまで学生が多くなっているということです。

警察官の採用試験

本年度の警察官の採用試験では、一次試験(筆記試験)は合格率75%で、本学の合格者は約六十名です。五月二十一日から学内で、警察官用の模擬面接をおこなっています。模擬面接は一日七、九回、各回面接官を三名用意していますので最大一日で二十七名を対象にしています。そこでは

企業は採用活動継続中、学生は就職活動継続中

企業の採用意欲は旺盛

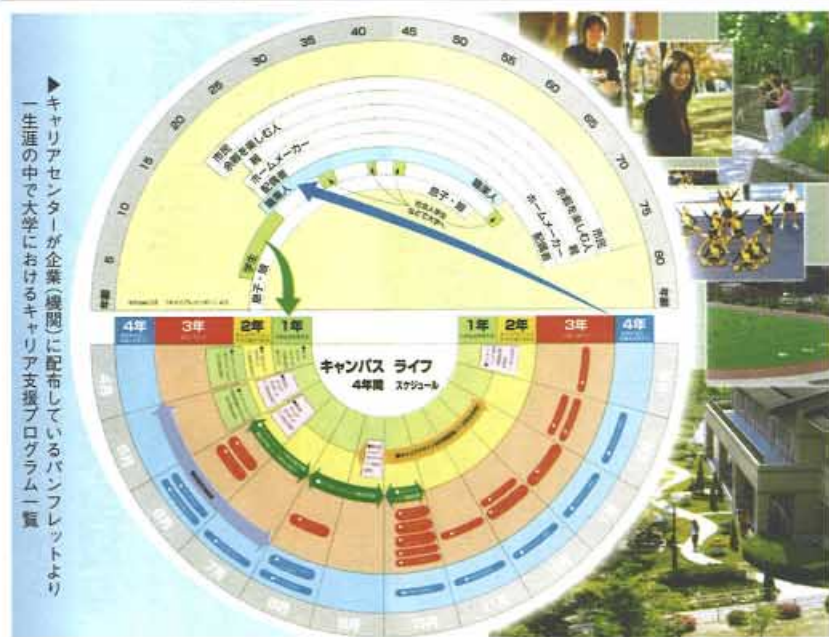
本年度の就職環境については昨年度から引き続き売り手市場となっているのはご承知のとおりだと思います。特に本年度は企業側からは内定を出しても辞退者が多く、歩留まりが読めないということから大目の内定を出してはいるがそれ以上の辞退者が出てくるということです。五月には一旦採用を終了していた企業が六月中旬には再度募集をかけることが多くなっています。そのため、各社の情報ナビにおいても従来使っていた「募

完全個別の面接対策をおこなっており、その個別面接では本学キャリアセンターが独自に収集した情報によりおこなわれます。この個別面接により例年合格者は高率となっています。

これから就職活動

上場企業や大手企業を交え、採用戦線は継続されていますが学生側が就活に疲れが見えてきたのが現状です。愛知学院大学のキャリアセンターには毎日採用希望の企業の方がいらついています。

その中では、業界では名前が通っているが一般的には知られていないといった隠れた優良企業が多数あります。会社名を聞いたことがある、商品を知っているなど、自分が知っている情報だけでは良い企業は選ぶことができません。そこで、特に関心のある企業(目)に届かない部品などのメー



緊急授業 公開特別授業

「長久手町発砲 立てこもり事件の 法律問題」を開講

去る六月六日(水)五時限

に、法科大学院で「長久手町発砲立てこもり事件の法律問題」に関する特別授業が行われた。本学全体および地域社会に多大な影響を与えた事件であることから、法科大学院学生だけでなく、一般にも公開された。当日は、法科大学院学生・教員のほか、学部学生・教員や報道関係者等も含めて、約五十名が参加した。

授業内容としては、まず原田保教授(刑法)が成立可能性のある犯罪を指摘し、各犯罪について必要な捜査方法や裁判で想定される争点について解説した。次に、高橋洋教授(憲法)が、立入禁止等の措置や死傷した警察官への対応等に関して、その根拠や適否に関する判断方法、賠償・補償の可能性について説明した。ひきつづき、岡崎勝彦教

授(行政法)から、警察や報道機関の行動に関して補足的に説明・意見表明が行われた。その後には宇佐見大司教授(民法)による損害賠償に関する解説も予定されていたが、既に予定時間を超過していたため、レジュメの配布に留まった。



第13回 OB交流懇談会 開催(6月14日)

名古屋ガーデンパレスにおいて、本学卒業の企業経営者・役職者・採用担当者等約300名と小出学長・各学部長等教職員が交流を深めた。



夏季企業面談会開催!

交流懇談会当日、名古屋ガーデンパレスにおいて、企業50社の参加による夏季企業面談会を開催、参加学生は延べ610名であった。



京都パープルサンガ 秋田豊選手が西田彩子さん、 ギヤナ・ラタナ・スローモンさんと対談 『NHK「ここはふるさと 旅するラジオ80ちゃん号」

これはふるさと旅するラジオ80ちゃん号で法学部一九九二年卒業のサッカー京都パープルサンガ所属の秋田豊選手と、商学部産業情報学科二年生でウェイトトレーニング部の西田彩子さん、大学院修了のギヤナ・ラタナ・スローモンさんとの三者対談が全国放送された。さらに商学部長でありサッカー部長・ウェイトトレーニング部長を兼務されている田畑康人教授と、大学事務局庶務課の加納勉係長(ウェイトトレーニンング部)も特別出演した。秋田豊選手の学生時代の思い出話や西田さんのクラブ活動状況等が、NHK放送総局鈴木桂一郎チーフアナウ



NHK「ここはふるさと旅するラジオ80ちゃん号」で京都パープルサンガ秋田豊選手(法学部卒)、商学部産業情報学科二年生西田彩子さん(ウェイトトレーニンング部)、大学院修了ギヤナ・ラタナ・スローモンさんの対談が全国放送される。去る六月四日(月)日進キャンパス一〇〇周年記念講堂前においてNHK「こ

これはふるさと旅するラジオ80ちゃん号で法学部一九九二年卒業のサッカー京都パープルサンガ所属の秋田豊選手と、商学部産業情報学科二年生でウェイトトレーニング部の西田彩子さん、大学院修了のギヤナ・ラタナ・スローモンさんとの三者対談が全国放送された。さらに商学部長でありサッカー部長・ウェイトトレーニング部長を兼務されている田畑康人教授と、大学事務局庶務課の加納勉係長(ウェイトトレーニンング部)も特別出演した。秋田豊選手の学生時代の思い出話や西田さんのクラブ活動状況等が、NHK放送総局鈴木桂一郎チーフアナウ



平成19年度 古川学術研究振興基金研究費 申請者一覧

学 部	准教授	名 前	研 究 課 題	交付金額 (円)
文学部	准教授	後藤 致人	近現代日本における 「上奏」・「内奏」の研究	300,000
心身科学部	准教授	長崎 大	身体運動トレーニングが インスリン情報伝達系に 及ぼす影響	300,000
商学部	講師	伊藤 徳正	ベドフォード会計思想の 現代的再考	300,000
経営学部	准教授	平賀 正剛	別途報告 (Differential Reporting) の研究	300,000
教養部	教授	岡島 秀隆	東南アジア仏教の現況調査	300,000

本年度の古川学術研究振興基金による学術研究費交付伝達式が七月三日(火)日進キャンパス学長室にて行われた。古川基金は平成三年に古川善次郎氏(元大学後援会長)の寄付金を基に創設され、独創的で学術的に幅広く社会に貢献することが期待される研究に対し助成されるもので、本年度の交付者は次の五名に決定した。研究費三十万円。交付者と研究課題は次のとおり。



平成十九年度 古川学術研究振興基金 研究費五名に交付

平成19年度 科学研究費補助金配分内定一覧(内件数 70件、配分内定額 117,900,000円)

研究代表者			研究種目	内定額 (単位千円)	研究課題名
氏名	所属	職			
横田 充弘	歯学部	客員教授	特定領域研究	5600	全ゲノムヒトゲノム対照解析及び候補遺伝子関連解析による心筋梗塞感受性遺伝子の同定
成瀬 桂子	歯学部	准教授		1500	血管内皮前駆細胞における特異的機能の解明
横田 充弘	歯学部	客員教授	基礎研究(A)	9700	オーダーメイド予防を目指した生活習慣病の総合的リスク診断システムの開発
夏目 長門	歯学部	教授		7700	口腔先天異常疾患関連遺伝子解析研究
河合 幹	歯学部	名誉教授	基礎研究(B)	2800	計画妊娠による口唇口蓋裂発生予防効果に関する研究
中堀 晴男	歯学部	教授		2500	8020達成のための住生活習慣支援システム開発と歯の喪失予防の介入研究
福井 寿男	歯学部	教授	基礎研究(B)	1900	ナノテクノロジーを用いた機械的性質に優れた黒変しない歯科矯正用合金の開発
尾澤 昌悟	歯学部	准教授		3300	抜去した歯を用いた歯槽骨形成法の開発
河合 達志	歯学部	教授	基礎研究(B)	6400	骨形成因子複合膜膜レジンの開発
夏目 長門	歯学部	教授		1600	モンゴル人の乳製品多量摂取による口唇口蓋裂発生予防効果に関する研究
新美 照幸	歯学部	講師	基礎研究(B)	2000	ベトナム戦争による枯葉剤が先天異常ならびに腫瘍発症に及ぼす影響に関する調査
安藤 充	文学部	教授		700	古ジャフ世界におけるシヴァ教の受容と展開
新井 達次	歯学部	講師	基礎研究(B)	300	交感神経による骨代謝制御におけるニューロペプチドYの役割
伊藤 嘉房	総合政策学部	非常勤講師		700	ベース神経回路網の学習と隠れマルコフ連鎖推定への応用の研究
林 淳	文学部	教授	基礎研究(B)	800	許伏授与システムと組織形成から見た近世芸能的宗教者の世界
柴田 哲雄	教養部	講師		400	地方博覧会の文化史的研究
青木 均	歯学部	准教授	基礎研究(B)	700	小売業の国際移転とそれに伴う変容の研究
近藤 信太郎	歯学部	准教授		700	日本人臼歯の歯冠構造における遺伝的変異性
戸辺 彰史	歯学部	教授	基礎研究(B)	600	骨代謝制御に関わる神経系の分子薬理学的研究
伊藤 正樹	歯学部	講師		600	脳性麻痺患児の歯肉炎・歯肉増殖症の発生・増悪因子の解明と治療法の確立
加藤 一夫	歯学部	准教授	基礎研究(B)	1200	定量的歯垢層別マッピング分析による歯垢内の細菌生態系と構造的透過性に関する研究
菊池 一隆	文学部	教授		800	戦時重慶国民政府・南京傀儡政権・日本・華僑の四極構造研究
龜山 洋一郎	歯学部	名誉教授	基礎研究(B)	1600	細胞増殖因子の歯肉におよぼす影響に関するin vitroとin vivoの研究
前田 初彦	歯学部	准教授		1300	パピローマウイルス関連癌におけるDNAワクチンの癌化抑制効果についての基礎的研究
茂木 真希雄	歯学部	准教授	基礎研究(B)	800	歯周関連疾患発症機序におけるRANKLの生理的意義・分子薬理学的研究
有地 榮一郎	歯学部	教授		1100	画像所見で舌癌の放射線治療効果を予測する
中村 洋	歯学部	教授	基礎研究(B)	900	Crude-BMPの骨形成誘導に関する研究
伊藤 裕	歯学部	教授		1100	臼歯喪失部位の違いが老化促進モデルマウスの咀嚼能力・学習記憶能力に与える影響
服部 正巳	歯学部	教授	基礎研究(B)	1500	口腔インプラントの細胞遺伝子治療に関する基礎的研究
新美 照幸	歯学部	講師		900	環境ホルモンが口唇口蓋裂発生に与える影響に関する研究
松原 達昭	歯学部	教授	基礎研究(B)	1100	メタボリックシンドロームに及ぼす歯周病の影響についての総合的研究
成瀬 桂子	歯学部	准教授		1300	有痛性糖尿病性神経障害に対する骨髄幹細胞による血管新生療法
大澤 功	心身科学部	教授	基礎研究(B)	400	費用対効果からみた健康教育の有用性の検討
石坂 隆	教養部	教授		2900	東シナ海上でプラズマ/雲が雲粒核作用を通して下層雲の微物理学的性質に与える影響
野呂 忠司	文学部	教授	基礎研究(B)	1900	多読指導が英語力向上と英語学習の動機づけに及ぼす影響:中・高・大学生への実証研究
岡本 真一郎	心身科学部	教授		1600	電子コミュニケーションにおける対人調整 言語・非言語情報の透明性鑑別への影響
村松 喬	心身科学部	教授	基礎研究(B)	1800	ミッドカイン受容体複合体の構成と作用様式
井上 誠	薬学部	教授		2100	メタボリックシンドロームが誘起する心血管疾患の予防・治療を目指した漢方方剤の創製
西川 清	歯学部	講師	基礎研究(B)	2500	転写因子の標的遺伝子探索に特化したマイクロアレイの開発と歯周病原細菌への応用
古川 博雄	歯学部	講師		1300	自然発生口唇口蓋裂ビッグデータの開発と応用に関する研究
片山 和男	心身科学部	教授	基礎研究(B)	1000	口唇口蓋裂に対する心理的ケアに関する研究
栗田 賢一	歯学部	教授		1400	三次元培養軟骨細胞を用いた軟骨破壊に関する検討
宮澤 健	歯学部	准教授	基礎研究(B)	1500	骨形成因子複合化吸収性インプラントの開発と矯正歯科治療への応用
石原 裕一	歯学部	講師		1700	歯周組織における可溶性インターロイキン1タイプ2レセプターの役割
中西 守	薬学部	教授	基礎研究(B)	1200	バイオサーファクタントを用いたナノ遺伝子ベクターの開発
片倉 伸郎	歯学部	准教授		2500	脳幹神経回路のモットバリエーションの解析-en bloc脳標本の導入
下郷 和雄	歯学部	教授	基礎研究(B)	500	脳卒中後遺症性肺炎の予測因子と高齢者自由落下の特徴との関連解析
長崎 大	心身科学部	准教授		1300	運動トレーニングによる筋代謝機能改善のメカニズムに関する分子生物学的研究
山本 浩充	薬学部	准教授	基礎研究(B)	1100	脳への薬物送達を目的とした粒子表面修飾法による指向性生分解性ナノスフェアの設計
蛭川 幸史	歯学部	非常勤助教		1000	ヒト骨芽細胞の恒常性維持におけるK+チャネル応答機構の解析
樋口 直也	歯学部	講師	基礎研究(B)	800	Tannerella forsythensisにおけるバイオフィルム形成能の分析
鈴木 崇弘	歯学部	講師		1200	カチコールアミン神経細胞の分化・生存におけるATF-2の機能と役割の解明
古野 忠秀	薬学部	准教授	基礎研究(B)	1800	神経-免疫シグナルの形成とそれを介した細胞間相互作用の可視化機能解析
小畑 孝二	歯学部	助教		900	内因性カルシニューリン抑制蛋白ZAKI-4βの心筋肥大化抑制分子としての役割
小林 泰子	歯学部	講師	基礎研究(B)	1200	プロインスリンC-ペプチドの血管平滑筋細胞における新しい作用機構の解明
宮前 真	歯学部	講師		700	顎骨欠損症例における咬合・咀嚼機能に関する研究
田淵 雅子	歯学部	助教	基礎研究(B)	1100	骨代謝におけるカップリング作用を応用した矯正学的歯の移動のコントロール
伊藤 正剛	歯学部	講師		500	高生体融合性レジンを用いた骨組織再生に関する実験的研究
三谷 章雄	歯学部	講師	基礎研究(B)	500	マクロライド系抗生剤が上皮細胞のサイトカイン産生に及ぼす影響
菊池 毅	歯学部	助教		1300	ラット腸癌抽出モデルにおける歯周組織の骨吸収因子発現の検討
伊納 義和	薬学部	助教	基礎研究(B)	1700	バイオサーファクタントを用いた新規非ウイルスベクターの開発
大野 高政	薬学部	講師		1800	天然由来抗腫瘍活性物質の単離と薬剤耐性腫瘍治療への応用
佐藤 啓子	歯学部	助手	基礎研究(B)	2200	歯周病原細菌の病原因子タンパクのメンブレントラフィック
森田 あや美	薬学部	助教		1900	骨破壊疾患の保護的療法に関する基礎的研究
林 達秀	歯学部	助教	基礎研究(B)	1700	未成熟筋組織による骨組織誘導の確立
阿部 厚	歯学部	講師		1100	舌扁平上皮癌におけるリンパ節微小転移の検討
東 公彦	歯学部	講師	基礎研究(B)	2600	ショ糖応用後の歯垢の深さの違いにおけるpHおよびミネラルの変化について
林 潤一郎	歯学部	講師		1300	ヒト歯肉上皮細胞からの抗腫瘍ペプチド産生にタバコ煙物質が与える影響について
スゲング・タント	文学部	外国人特別研究員 (受入研究者:安藤 充 文学部教授)	特別研究員 奨励費	700	パリの宗教に関する研究-ヒンドゥー教と仏教のシンクレティズムについて
伊藤 弘子	法学部	特別研究員 (受入研究者:藤田 公穂 法学部教授)		1100	人的不統一法の家族関係法および身分登録制度の比較法的考察と人権法の研究

大幸財団から
奨学金授与

平成十九年度大幸財団の育英奨学・奨学生助成証書授与式が、六月十六日大幸会館で行われ、本学から次の三名が奨学金を授与した。

学芸奨励生 大学院総合政策研究科修士課程二年ナハ・カムルン(新海教授指導)、留學育英奨励生 情報社会政策学部四年何東洋(竹市教授指導)、留學学芸奨励生 大学院商学研究科修士課程二年李金燾(加藤教授指導)。

平成十五年度 特待生伝達式 115人に授与



平成十九年度の本学特待生百十五人が六月六日の代表教授会で決定し、選任式が次のとおり行われた。

▲六月十三日
楠元キャンパス
十二時十五分から
歯学部
十三時から
薬学部

▲六月十九日
日進キャンパス
十二時五十分から
文学部 商学部
経営学部 法学部

総合政策学部
(情報社会政策学部)
心身科学部

この特待生制度は、前年度の学業成績が優秀であると同時に、人物が良好であることなどが受賞の対象となり、奨学金(年額三十万円)が交付される。

本年度は、文学部十八人、商学部十八人、経営学部十五人、法学部十六人、総合政策学部四人、情報社会政策学部六人、心身科学部十八人、薬学部六人、歯学部十一人、外国人留学生三人の以上百十五人になる。

各代表者に、小出学長から特待生証書が手渡されたのち、「特待生は優秀な成績を収めるとともに、人物良好な学生に贈られる大変な名誉ある賞である。諸君は愛知学院の顔である。これから他の範となるよう精進していただきたい。」と挨拶。

トレーナー
米メジャーの夢

マイナー専属
本学文学部国際文化学科02年(松崎ゼミ)卒の



本学文学部国際文化学科02年三月卒の大院有希也さん(27)は昨年、サンフランシスコジャイアンツで専属トレーナーとして働いている。サッカー選手から転身し、五年前に米国に渡り、資格を得た。「将来はメジャーで仕事を」と、キャンプ地入りした大院さんは二年目のシーズンを迎える。

サツカー少年だった大庭さんは地元の高校を卒業後、進学した愛知学院大学でもサツカー部に所属。真剣に「リーガー」を目指したこともある。英語が得意だったことから語学を生かした仕事に就くことも考えていたという。

大学時代に偶然アスレチックストレーナーの存在を知った。「アスリートとしての経験も生かせる」と02年三月大学卒業と同時に米国へ渡り、勉強を始めた。国家資格に必要な生理学や運動力学、解剖学などを学ぶ傍ら、03年には経験を積むためのインターン制度を利用し、ジャイアンツの学生ストレーナーとして半年間、チームをサポートした。

04年一月、国家資格の試験に合格。さらに専門的な知識を高めるため、ハワイ大学大学院へ進学。一年半、ティーチングアシスタントとして教壇に立ち、スポーツ医学やウェイトトレーニング、人工心肺蘇生法など教え

大庭有希也さん

ながら運動機能学の修士号を取得した。

卒業論文を書いている時
ジャイアンツから専属トレーナーへの誘いが舞い込み、夢が実現した。ジャイアンツにはメジャーを入れて七チームあり、専属トレーナーは九人。昨年から3A、2Aに続くハイシンゲルAの「サンゼノジャイアンツ」を担当している。

キャンプから選手と寝起きを共にし、けがの予防や体調管理など、トレーナーの仕事に加え、遠征時は移動手段の確保や宿泊ホテルの部屋割り、食事費用の管理など、マネージャーの役目も兼ねる。

大庭さんは「選手から信頼されるのが一番大切。大変だけれど、やりがいもある」と話す。シーズン百四十試合の半分は遠征。八時間もバスで移動することもある。試合中はベンチに入り、けが人が出れば最初にベンチを飛び出す。大庭さんのように裏方として働く日本人トレーナーは、米球界には十人ほどいるという。

「選手活躍が自分の喜び
けがから復帰した選手にお礼
を言われた時が一番うれしい
」と大庭さん。「選手には早くメ
ジャーへ昇格してほしい。いつか
自分もメジャーで」と夢は膨ら
む。今月二十日に日本を離れ、
キャンプ地のアリゾナに入った。
シーズン終了の十二月末まで帰
国できないという。

二〇〇七年二月二十一日(木)
朝日新聞(夕刊)より抜粋

2008年版 週刊朝日 進学MOOK 大学ランキング

●社長の出身大学●

20代社長			未上場			売上伸び率20%以上			設立10年以内		
	大学	人		大学	人		大学	人		大学	人
1	慶應義塾大	18	1	日本大	24,493	1	日本大	2,955	1	日本大	2,090
2	近畿大	17	2	早稲田大	12,291	2	早稲田大	1,634	2	早稲田大	1,411
3	日本大	16	3	慶應義塾大	11,401	3	慶應義塾大	1,475	3	慶應義塾大	1,364
4	明治大	14	4	明治大	11,039	4	明治大	1,213	4	中央大	1,054
	早稲田大	14	5	中央大	10,169	5	中央大	1,206	5	明治大	981
6	帝京大	10	6	法政大	8,129	6	法政大	889	6	法政大	798
7	東京大	9	7	同志社大	6,205	7	近畿大	835	7	近畿大	686
8	上智大	7	8	近畿大	5,988	8	同志社大	709	8	東海大	600
	東京農業大	7	9	関西大	5,157	9	東海大	669	9	同志社大	546
	立命館大	7	10	東海大	4,618	10	関西大	635	10	東京大	536
11	愛知学院大	6	11	立教大	4,413	11	立命館大	508	11	関西大	487
	京都大	6	12	立命館大	4,334	12	立教大	491	12	立命館大	453
	東京理科大	6	13	関西学院大	3,850	13	関西学院大	482	13	青山学院大	442
	龍谷大	6	14	専修大	3,749	14	青山学院大	459	14	立教大	412
	関西学院大	6	15	青山学院大	3,710	15	東京大	429	15	関西学院大	405
	福岡大	6	16	福岡大	2,941	16	専修大	395	16	専修大	387
			17	東京大	2,814	17	神奈川大	368	17	福岡大	358
			18	東洋大	2,765	18	大阪工業大	357	18	東洋大	350
			19	駒澤大	2,615	19	東洋大	347	19	駒澤大	347
			20	神奈川大	2,559	20	名城大	321	20	京都大	340
			21	甲南大	2,533	21	駒澤大	316	21	神奈川大	324
			22	名城大	2,334	22	甲南大	315	22	東京理科大	292
			23	大阪工業大	2,301	23	福岡大	312	23	北海道大	267
			24	京都大	1,995	24	京都大	305	24	拓殖大	246
			25	明治学院大	1,976	25	東京理科大	288	25	京都産業大	245
			26	東京農業大	1,889	26	芝浦工業大	282	26	名城大	228
			27	芝浦工業大	1,883	27	工学院大	253	27	大阪大	227
			28	東京理科大	1,861	28	明治学院大	242	28	明治学院大	224
			29	拓殖大	1,852	29	東京電機大	238	29	上智大	221
			30	工学院大	1,830	30	拓殖大	235	30	大阪工業大	219
			31	愛知学院大	1,800	31	京都産業大	224	31	甲南大	216
			32	東京経済大	1,798	32	東京経済大	212	32	九州大	211
			33	京都産業大	1,717	33	愛知学院大	210	33	東京電機大	204
			34	東京電機大	1,661	34	上智大	206	34	東北大	200
			35	東北学院大	1,627	35	学習院大	199	35	愛知学院大	196

科学研究費
説明会実施

平成十九年七月二日(月)

に七月六日(金)楠元学舎薬学部棟206大講義室において第十回科学研究費説明会が実施された。

今回の説明会は平成十九年度科学研究費補助金の内定を受けている研究者および事務担当者を対象とし、内容は①不正行為申し立て窓口について②研究組織等に関する変更について③科学研究費補助金の経理事務取り扱い・監査に



出席者数
七月二日 十三名
七月六日 七十四名

司書・司書補
講習開講式
開催される

去る七月十三日(金)日進キャンパス1号館1201教室において、文部科学大臣委嘱平成十九年度司書・司書補講習開講式(五十四回目)が行われた。当日、大野栄人図書館長の開式の辞、情報センター館長の開式の辞、ならびに愛知芸術文化センター・愛知県図書館長の河合一道様の挨拶と商学部磯村孝志教授より講師代表の挨拶があった。開講式終了後、本学文学



部福島金治教授より「中世から近世への文庫の転換」―金沢文庫・足利学校・蓬佐文庫―のテーマで特別講演が実施された。

寄付金ご協力者

平成十九年六月十八日現在

澤田 高弘	大杉 和司	田中 哲治	中田 正一
高津 伸生	古儀 行康	今川 雅仁	小橋 治士
佐藤 泰年		川上 克美	皆川 象洋
五口		新開 明	松村 実
石津 武雄	青山 和雄	小川 博	久後 彰
安田 力		今村 利明	牧野 淳子
山口 裕康		前田 悟	山崎 富美
安藤 裕康		古橋 善光	渡邊 賢司
		宮崎 賢治	三宅 宏人
		澤 哲朗	山田 良英
		岡田 浩地	近藤 昌俊
		齋藤 正猛	岡田 進
		坂井 忠夫	森 秀明
		奥長 茂登和	池野 正敏
三井 清二	安藤 公三	岡野 文規	高瀬 良吉
村田 宏次	磯村 通和	石塚 智	玉川 定夫
山元 洋	酒井 敏男	稲垣 勝之	長谷 康弘
樋口 正	石井 友和	大黒 雅己	川端 優
二口		寺岡 進	河瀬 正訓
岩田 嘉生	今飯田 佳久	堀 幸一	尾関 晋
津村 昌宏	石川 義一	永田 勝久	近藤 孝司
樋口 俊邦	八木 誠	川瀬 結	村瀬 法晃
増田 克彦	戸田 一茂	河野 典生	山本 文代
塩崎 明彦	須藤 薫	榎原 一幸	平田 吉照
松井 勝敏	稲垣 勝俊	上坂 佳也	前田 英治
伊藤 清隆	小野 晃稔	伊藤 久人	池田 恒廣
濱野 雅彦	篠丸 哲也	武川 鉄男	大野 浩資
三矢 晶吾	川崎 明	倉地 希佳	戸川 博美
後藤 勝	柴田 和夫	村上 元庸	仲本 幸司
加藤 雅明	岡島 務	鈴村 清三	阿部 金義
奥村 佳洋	池山 隆久	田中 靖彦	戸澤 晃
豊富 毅	中嶋 和久	栗田 一人	河野 満夫
高松 保行	牧野 太輔	原 真一	大場 敏明
田地 道保	山田 誠	小泉 廣高	塩野 浩史
大澤 守	柴田 和顯	三輪 総一郎	竹嶋 和秀
谷山 叡	船附 明	杉山 和孝	今枝 靖広
伊東 雅之	氏原 浩則	中井 悟	阿部 逸夫
大崎 憲治	西垣 幹雄	中村 好行	阿部 俊夫
吉田 哲夫	杉浦 隆	鈴木 隆之	金田 安弘
松下 徳重	小川 隆志	須田 俊一	岩佐 良二
生田 好孝	米川 孝一	森 一教	三輪 聡
石上 茂	平岡 道郎	安藤 正幸	浅野 文昭
尾崎 博利	土居 泉	河合 憲二	安藤 博史
松本 隆司	川島 康弘	倉橋 伸光	渡辺 徳男
松浦 強	亀井 正也	宮嶋 秀樹	浅見 光春
服部 泰章	市原 茂博		
春日 晴夫	中村 順乙	一口	
杉原 良爾	小坂井 恵次	佐藤 良之	
中川 満善	周戸 典雄	長田 敏春	
魚住 高之	大橋 正康		



■大学紹介
バンクーバー島の南端に位置するブリティッシュ・コロンビア州の州都にあるビクトリア大学は、一九六三年の創立で、現在の学生数一万八千九百六人(うち学部学生一万六

千人八十三人、大学院生二千四百二十三人)、教職員は三千九百二十七人。大学キャンパスには、図書館・美術館・劇場・スポーツセンターなどの施設があり、研究面では特にアジア太平洋地域の研究が盛んな大学です。

■周辺環境

カナダ最西端バンクーバーアイランドの中心地ビクトリアはイギリス文化が残るカナダ有数の観光名所です。大学構内や家・道路など町のいたるところに花が植えられ緑も多く、穏やかで雄大なカナダの自然に包まれています。観光客・語学留学生も多く、街の人々はとても親切で安全な街です。語学力・海外生活に自信



ビクトリア大学

雄大な自然の中でのびのび英語にひたる

研修シーズン到来!

海外語学研修 永平寺参禅

夏休みに入ると本学の年中行事である夏期海外語学研修や、新入生対象の永平寺一夜参禅が行なわれる。また、ゼミやクラブ活動の合宿も盛んに行なわれます。貴重な人やモノとの出会い、青春を謳歌できるこの機会を有意義に活用して、自己研鑽につとめて下さい。



エディンバラ大学

AGU語学研修開始時から伝統校で語学力UPを目指す

■大学紹介
一五八三年に創設された大学で、キャンパスは、街の中心にある法・人文・医学・音楽・社会科学部などがあるオールド・カレッジと、理系の学部が集まるキングス・ビルディングに分かれています。大学の誇る応用語学研究所は優れたスタッフと教材を揃えており、研究所主催の語学研修には世界各国の人達が参加しています。

■周辺環境

中世を体感できる街エディンバラは、優雅で威厳を保つ天然要塞として名高いエディンバラ城を中心に、伝統・建築・史跡遺産が歴史の重みを感じさせます。また、興奮醒めやらぬフェスティバル(Military

◆研修内容/英会話、イギリスの歴史・文化・経済・法律、街に出ての課題や様々なアクティビティ、週一回のオプションナルハーフデーツアーなど

◆引率者/鈴木伸智法務学部講師・谷香賢事務局庶務課職員



がない人でもとても溶け込みやすい最適な環境です。
◆期間/八月三日〜九月二日(31日間)
◆研修内容/英会話、カナダの歴史・社会・経済・法律、ブリティッシュコロンビア発見ツアー、ハウエールウォッチングなど



この夏も「クール・ビズ」で冷房温度は28℃に!
昨年の夏、新しく始まった「クール・ビズ」。涼しく格好良い「夏の軽装」でオフィスの冷房温度を控えれば、CO₂排出量が削減されます。今年の夏も「クール・ビズ」で地球温暖化防止にご協力ください。

*福井県にある曹洞宗大本山永平寺は、今からおよそ七百年前に道元禪師によって開創された出家参禅の道場である。深山幽谷のふところに抱かれ、樹齢六百八十年といわれる老杉に囲まれた境内に、一歩足を踏み込むだけで身のひきしまる思いがする。この静寂なたたずまいの中で、説法を聞き、坐禅を行うなど、尊い修行体験を味得ることが出来る。



永平寺一夜参禅

永平寺一夜参禅が、今年も八月四日から開催される。この行事は、建学の精神「行学一体・報恩感謝」に基づく愛知学院伝統の研修で、坐禅をとおりて人間形成に資するとともに、自立できる大学人

となる一助として行われるものである。
【日程】
第一班 八月四日〜五日
第二班 八月五日〜六日
【参加費】
二千元



五月三十一日、留学生別科生十一名は、瀬戸市にある愛知県陶磁資料館で陶器作りに挑戦した。
指導員による簡単な説明の後、学生たちはなかなか思い通りにいかない土と格闘しながらも、思い思いに土を捏ね、なんとか形にするべく奮闘した。陶器作りは初めてという学生がほとんどで、終始、「楽しい」「おもしろい」「また来たい」などの声があがるなか、学生たちは急須や花瓶、皿、カップなどを次々に仕上げていった。



予定の二時間という作陶時間は文字通りあつという間に過ぎ、できあがった作品群を前に即席の鑑賞会が開かれた。そして、楽しかったひと時の余韻に浸りながら資料館を後にした。

留学生別科 陶磁器センター見学



今回の本学の秋春連覇は先の見えない戦いから始まった。ロッテに入団した江口から昨年の主力が抜け、技術は半分というほどチーム力は低下。練習試合は大きく負け越した。悔しさがナインを練習へと駆り立て、今回の優勝につながった。

愛知大学野球春季リーグ第七週第二日の20日、愛知県日進市の本学グラウンドで1部の二回戦二試合を行い、本学が12-5で愛大を下して秋春連続三十七度目の優勝を決めた。



硬式野球部秋春連覇